



2022年10月21日

各 位

会 社 名 株式会社 K e y H o l d e r
代 表 者 名 代表取締役社長 大出 悠史
(証券コード番号 4712・スタンダード市場)
問い合わせ先 執 行 役 員 柴野 光平
電 話 番 号 0 3 - 5 8 4 3 - 8 8 8 8

2022年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年7月15日付け「2022年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において、公表しておりました2022年12月期の通期連結業績予想を上方修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年12月期 通期連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,000	百万円 1,500	百万円 1,300	円 銭 69.54
今回発表予想 (B)	22,000	2,000	1,700	90.32
増減額 (B - A)	2,000	500	400	—
増減率 (%)	10.0%	33.3%	30.8%	—
(ご参考) 前期実績 2021年12月期	16,786	743	461	26.53

2. 修正の理由

まず、総合エンターテインメント事業におきましては、大型催事における入場者数の制限や行動制限の緩和等の事業環境の改善を背景に業績動向が上向いております。特に乃木坂 46 に係るイベント等におきまして、当初の想定を上回る実績で推移していることに加え、SKE48やNovelbrightなどの既存IPコンテンツを含めました期末までに計画されている内容を、現在の事業環境に併せて改めて精査した結果、売上収益で約 800 百万円、営業利益におきましては、乃木坂 46 合同会

社に基づく持分法投資利益の増加分も考慮いたしまして約 410 百万円程度の増加を見込んでおります。

また、広告代理店事業におきましては、株式会社F A P r o j e c tにインターネット広告事業及びインターネットメディア事業に関する事業が加わり、事業規模が拡大することをお示ししておりましたが、改めて期末までの収益状況等を精査した結果、当初の想定をさらに上回る見込みであるため、売上収益で約 1,200 百万円、営業利益では約 70 百万円程度の増加を見込んでおります。

さらに、映像制作事業におきましても、特番からレギュラー化を果たしたバラエティ番組が好調のほか、予算外の新規制作案件や、引き続き特番の制作案件等を獲得していることなどから、売上収益で約 200 百万円、営業利益では約 20 百万円程度の増加を見込んでおります。

以上のことなどから、現時点において想定する今後の事業環境や実績等を考慮いたしまして、売上収益を2,000百万円増加の22,000百万円、営業利益を500百万円増加の2,000百万円とすることといたしました。また、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましても、上記の増加要因等によりまして、400百万円増加の1,700百万円を見込んでおります。

なお、当社グループにおいて展開する事業におきましては、総合エンターテインメント事業のライブやイベントの分野における集客の制限や開催の可否などの状況を筆頭に、行政機関から出される規制等の変更により、業績への影響が見込まれる可能性が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

※本通期連結業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づくものであるため、実際の業績や市場環境は、今後様々な要因によって変更となる可能性があります。

以 上